

幼・小中一貫教育校に向けて、 子供たちの豊かな体験を支えるPTA

PTAの
活動紹介
第14回

なかのちよ ～港区立中之町幼稚園PTA～

来年度に創立130年を迎える港区立中之町幼稚園は、東京ミッドタウンの隣、高層ビルが建ち並ぶ町にあります。港区立赤坂小学校、港区立赤坂中学校との幼・小中一貫教育校となる計画が進んでいる中、校舎建設工事の音や騒音に負けず、仮園舎には子供たちの賑やかな声が響いています。

港区立中之町幼稚園

- 開園 明治23年5月
- 園児数 135名
- 園長 大橋 美都子
- PTA会長 大澤 早代子



○幼・小中一貫教育校を目指して

港区では、「幼児期の教育から、小・中学校の義務教育までの12年間を一貫とした教育として捉え、12年間を見通した指導方針のもとで子供たちを育てる。」という方針を掲げ、中学校通学区域を単位とする10のグループ(アカデミー)ごとに、幼・小中一貫教育を進めています。この中之町幼稚園は、「赤坂アカデミー」として、令和4年度に小中一貫教育校と同一敷地内の幼稚園として、生まれ変わります。

今年度から、コミュニティ・スクールとなった赤坂アカデミーには、それぞれに「地域コーディネーター」が配置され、活動を始めています。幼稚園の地域コーディネーターは、中学校の保護者でもあり、コーディネーター間の情報共有も自然に行われています。

これまでも、中学生の職場体験受入や小学校の体育館・温水プールの使用、そして3学期には5歳児の小学校体験授業等の交流が行われてきましたが、学校運営協議会で園及び学校・地域の新たな交流・連携についても話し合われ、試行されています。コーディネーターが幼稚園の「音楽のつどい」の講師を探す、運動会の運営補助や園外保育の付添補助を地域の方に呼びかける等、新たなつながりができています。



芝生の上を走る園児

○PTAサークルが園の行事で活躍

PTAには、自主的な活動として、ガーデニング部・コーラス部・茶道部・手芸部の4つの「サークル活動」があります。

ガーデニング部は、季節の野菜を栽培したり、プランターに花を植えて園を飾ったりします。コーラス部は、各学期に1回ずつ、子供たちに合唱を披露します。ひなまつりには茶道部によるお茶会、誕生日会のコサージュ作りでは、手芸部が保護者にアドバイスするなどの活動を進めています。保護者の体験やスキルアップとともに、学級や他学年の保護者との交流が生まれています。サークル活動の成果を園の行事や親子体験に無理なく生かすことにつながっています。



ガーデニング部・茶道部

○地域の中での体験を豊かに

「祖父がこの幼稚園の卒園生です。」という家庭も多く、地域との連携も盛んに行われています。園の行事に位置付く「中之町まつり」では、4・5歳児によるお店・ゲームコーナーや、PTAによる出店が恒例です。12月に開催するもちつき会には地域の和菓子屋さんの協力があり、8月のキャンプごっこには、ボーイスカウトの指導のもと、飯盒でご飯を炊きカレーライスを作る体験を楽しみます。地域の神社のお祭りには、PTAが窓口となって大勢の子供たちが参加します。

大澤PTA会長は、PTAの活動について「園児のために、先生方が目指す教育ができるようサポートしています。保護者はPTA活動に協力的で、地域にも支えられて豊かな体験ができています。」と語ってくれました。

園と保護者、地域と一緒に工夫しながら、子供たちが様々な体験ができる機会をつくり、保護者が子育ての喜びを感じられるPTA活動が行われています。



コーラス部

取材協力：東京都公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会

東京都レベルの組織として、今年度で創立50周年を迎えた「東京都公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会」があります。「遊び広場」や「ふれあい研修会」など親子で参加できる「都幼P親子フェスタ」や、広報誌の発行等を通じて、子育てについて保護者が考え合い、子育てに関わる地域とのつながり、人とのつながりをつくる機会を提供しています。